

「地域公共交通のサステナブルな維持・発展の実証と解決法」

日時：11月10日(火) 16:50-18:35 (5限)

国際学術総合研究棟4階SMBCホール(20名まで)における対面授業とオンライン授業の併用

公共政策大学院では、「地域交通政策研究」の授業において、下記のとおり、両備グループ代表 兼CEO、(一財)地域公共交通総合研究所理事長 小嶋光信氏からお話を伺います。

1980年代の英国・サッチャー政権による交通競争政策の大失敗を学ばず、日本では2000年、2002年の規制緩和で全国の地方鉄道や路線バス会社が30数社破綻しました。ゲストスピーカーは「たま駅長」の和歌山電鐵などの再生を通じて地域公共交通活性化再生法と交通政策基本法の成立に携わり「公設民営」での地方交通の維持を唱えましたが、依然として地方交通は少子高齢化や地方消滅の兆しで危機状態であります。一昨年、問題提起としての「31バス路線の廃止届」で、国は「地方の競争と路線維持の両立は難しい」との認識で検討会議を設置しました。ですが、本質についての議論は乏しく、更に新型コロナウイルスの感染拡大で大打撃を被った地方交通の根本的解決策を具体的に語ります。

履修登録学生以外の本学学生の聴講も歓迎しますので、聴講を希望する学生も参加願います。

(使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方はアクセス出来ません。)

※ オンライン授業URLは授業開始前にITC-LMSで確認し、資料はにおいて本科目を仮登録の上、ITC-LMSから入手すること。授業開始の1時間前までを目途に事前配布する。

※ 対面授業を希望する受講生は、下記アドレスまで、授業前日17時までに連絡すること。先着順に受け付けし、教室定員を超えた場合のみ対面授業に参加できない者に個別に連絡する。

一問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp



両備グループ代表 兼 CEO
(一財)地域公共交通
総合研究所理事長

小嶋 光信 氏